

市長記者会見記録

日時：2026年8月4日（木）14時01分～14時26分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

《市バスの乗車料金改定について》

【司会】 ただいまより、定例市長記者会見を始めます。本日の議題は、市政一般となっております。それでは、早速質疑に入ります。

まずは、幹事社様からよろしくお願ひいたします。

【毎日（幹事社）】 幹事社、毎日新聞です。お願いします。先月30日の環境委員会で、来年4月からバス料金が大人20円値上げするという方針が示されました。市内の人口の36%に当たる56万人が路線バスを利用されていると言われていています。市民にかなり大きな影響を与えますが、なぜ値上げに至ったのか市長の考えをお聞かせください。

【市長】 これまでも申し上げてきましたけれども、非常に厳しい経営環境にあるということ。燃料費のこともありますけれども、人件費ですとか様々な管理費等々が高騰していることもありまして、安定的な経営をしていく上での、厳しいですが、そういった判断になったということでございます。

【毎日（幹事社）】 この前、追加の燃料代が補正予算で計上されましたけど、これもやはり燃料代というのが一番大きな要因と言えるのでしょうか。

【市長】 要素の一つではあります。燃料代だけをもって料金改定をしているということではございませんので、要因の幾つかある中の一つだとお考えいただければと思います。

《ふるさと納税について》

【産経（幹事社）】 産経新聞です。ふるさと納税の寄附受入額が過去最高の43億6,000万円になったということについて、市長の受け止めをお願いします。

【市長】 寄附金受入額の拡大を目指して、返礼品の開発だとか募集みたいなことに相当力を入れてきましたので、その結果が出てきているなとは思っていますが、一方で流出額も過去最高になっておりますので、拡大しているということで、本当に深刻に受け止めているところです。さらなる受入額拡大に向けてしっかり取り組んでいき

たいと思っております。

【産経（幹事社）】 流出額のほうなんですけれども、これまでも国に制度の見直しを求めてきましたけれども、今後もまた求めていくということで……。

【市長】 引き続きしっかりと求めていきたいと思います。現状、本来あるべきふるさと納税制度の趣旨からかなりかけ離れていると言わざるを得ませんので、そのことをしっかり訴えていくということはこれからもあらゆる機会を通じてやっていきたいと思っています。

《横浜市長のパワーハラスメントについて》

【産経（幹事社）】 あと、横浜市の山中市長に対して第三者調査委員が7項目にわたってパワハラ認定をする報告を公表されましたけれども、それについての市長の受け止めというか、感想をお願いします。

【市長】 ほかの都市の話ですので、コメントは避けたいと思います。

【産経（幹事社）】 特別市制度についての議論に何らかの影響を与える可能性はあるとお考えでしょうか。

【市長】 影響があってもほしくないなとは思っておりますが、今後注視していきたいと思っております。

【司会】 それでは、幹事社様のほかに御質問される場合には挙手をお願いいたします。

NHKさん。

《ふるさと納税について》

【NHK】 NHKです。重ねてふるさと納税についてお伺いします。ふるさと納税をめぐるのは、総務省が行った調査で、2024年度にふるさと納税をめぐる自治体が運営事業者に支払った手数料が、寄附額の11%に当たる1,379億円だったことが分かりました。今年、総務省が寄附のポータルサイトの運営業者に手数料の見直しを求める要請を行っていますが、今年川崎でもポータルサイトの拡充を行っているとありますが、その際に手数料などの費用は増えたのかというところと、この問題に対しての受け止め、お考えを伺わせてください。

【市長】 まず、総務省から各ポータルサイト事業者に手数料を引き下げようと申し入れしていただいたことについては非常に感謝をしたいと思っています。その負担は各自治体にとって非常に重くのしかかっておりますので、ぜひこの辺りを見たいと思います。具体的な額については、事務方からでもよろしいでしょうか。

【財政局】 財政局寄附財源担当でございます。私からお答え申し上げます。昨年度

に入りまして、ポータルサイト、それまでが14サイトだったものを27サイトまで拡充してございますが、川崎市では、個別のポータルサイトの手数料については差し控えさせていただきたいと思っておりますけれども、先般ございました調査の中では、本市は平均では11.1%の手数料率となっておりまして、国の調査の11.5%と比べて同じぐらいだったという状況になってございます。

以上でございます。

《横浜市長のパワーハラスメントについて》

【NHK】 ありがとうございます。

次に、横浜市の市長のパワハラの問題、関連についてお伺いしたいんですけれども、川崎市では、市長を含む特別職に関するパワハラガバナンス体制というのはどうなっているのかというのを伺えますでしょうか。

【市長】 特別職については、私を含め、パワハラに対する研修を私自身は受けたことがありません。職員については、様々な講習の機会を設けて、パワーハラスメントのことについては受講してもらっているという状況にございます。

【NHK】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか。

t v kさん、お願いします。

《市バスの乗車料金改定について》

【t v k】 テレビ神奈川です。よろしくお願いします。先ほど毎日さんから質問が上がったバスの運賃改定について重ねて質問させていただきます。様々なものが物価高騰と言われていて、水道料金の値上げについても議論されている中で、市バスというすごく身近なものの値上げというところ、市民にとっては非常に大きな負担になると思うんですが、やっぱりこのタイミングにどうしても値上げせざるを得なかったものなのか、免れることはできなかったのか、いかがでしょうか。

【市長】 市バスの中でも、これまで経営改善のための努力は様々なしてまいりましたが、しかし、やはり様々な経費、物価高騰によって影響を受けているということもございまして、安定的な経営を維持していくためには、利用者の皆様に対しては大変申し訳なく思いますが、料金の値上げをせざるを得ないという状況に至っているということでございます。現行でも、民間バスさんも相次いで料金値上げみたいなことをされておりますけれども、私たちもやはりせざるを得ない状況ということでございます。

《令和 8 年熊本地震について》

【t v k】 ありがとうございます。話題変わるんですが、熊本地震について、昨日職員が派遣されたと思うんですが、現地での具体的な活動内容と、この地震について市長の受け止めをお願いします。

【市長】 まず、地震の受け止めについてですけれども、2016年の熊本地震から10年たって、様々復興している中に、またこういった大きな地震が起こってしまって、被災された皆さん、本当におつらい状況だろうと察して余りあると思っていますし、被災された全ての皆さんにお見舞いを申し上げたいと思っています。

川崎市からの派遣の状況でございますけれども、現在、危機管理本部の職員が先遣隊として3名行っております。今日も1日朝から先ほどまで、今どういう視察をして現状把握しているのかというのを、毎時ごとに来るぐらい、いろんなところを見て、現状を把握していると。熊本市内から今日は南部のほうに移動しまして、それぞれの被災されたところの現場を見ている状況でございます。その状況からニーズを把握して、今後の支援につなげていきたいと思っています。

具体的な避難所運営の支援要員としては、これから始まっていく、合計15人を予定しているところでございます。そして、日本水道協会からの要請を受けまして、8月2日、日曜日から、上下水道局の給水車1台と職員6名を派遣しているところでございまして、本日は宇城市の介護施設と八代市のクリニックで給水活動を実施しているという報告を受けております。

そして、御案内のとおり、川崎市の寄附金の受付も行っておりまして、義援金の受付を行っているところでございます。それから、支援金のクレジットカードでの受付も開始しておりまして、近日中に銀行口座での開設もお知らせさせていただきたいと思っています。既に御協力をいただいている方もたくさんいらっしゃるということで、ありがたく思っています。

以上です。

【t v k】 ありがとうございます。こうした酷暑の中での避難が非常に問題視されていると思います。避難所にクーラーが設置されていないことが現地で課題として挙がっているようなんですが、市内の避難所になる予定である学校のクーラーの設置状況、また、配置をいつまでに行うかなど、めどがあったら教えてください。

【市長】 既に計画も発表しておりますけれども、令和11年度までに全ての体育館に冷房設置ということを順次整備していくことにしております。

【t v k】 現状はどれくらい進んでいるのか……。

【市長】 現在設置されているのは、今まだ３％程度だったと記憶しております。現在設計に入っております、今、何台かというのをお示したほうがよろしいですか。誰か担当の方いらっしゃいますか。すみません。後ほどペーパーでお出しする形でもよろしいでしょうか。

【t v k】 分かりました。３％という数字、非常に低いと思うんですけど、万が一、もしあしたとか地震が起きたときに、酷暑の中の避難というのが市民にとってはかなり大変なことになると思うんですけど、クーラー設置以外に暑さをしのぐための対策というのは何かあるんでしょうか。

【市長】 現在でも、学校の運動などで体育館を使用しておりますので、冷風扇などの設置は進んでおりますけれども、やはりこのぐらいの酷暑になりますと、冷風扇ではとてもということなので、スピード感を持ってやるということで、４年で全て冷房を設置するという決断に至ったということでございます。まさに、いざというときは避難所、そして児童・生徒たちの日々の活動の場でもありますので、今の気候の中では学校での教育活動も非常に厳しくなっているのかなという判断の下、今進めているということでございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

神奈川新聞さん。

【神奈川】 神奈川新聞ですけれども、今のに関連して、熊本地震では避難所、段ボールベッドなりが１０年前とほぼ変わらない状況じゃないかというような声も出ていますけれども、改めてその辺はどういうふうに行行政としては受け止め……、結構重い言葉だと思うんですけども、どういうふうに市長は受け止め、違うエリアですけれども。

【市長】 能登のときもそうでしたけれども、熊本で家屋が倒壊してとかという状況が発生していますが、その地域とは違って、私どもの建物というのは、耐震化率約９８％近くあったと記憶していますが、誰か分かるかな、恐らくそのぐらいあったと思います。そういった意味では、建物が倒壊することはかなり少なくなっていると思っています。そういった意味で今、在宅避難ということを基本に考えようということで進めているところでございます。

ですから、段ボールベッドの話もそうですけれども、それは一定程度整備していきます。しますが、全てを避難所で賄うということは事実上困難であることはもう明らかですし、建物が大丈夫な状況であれば、むしろ在宅避難していただいたほうがはるかに安全で安心な避難生活ができるのではないかと思います。

一方で、どうやって物資を各在宅避難の方に届けていくのかというそこについては、さらに課題としては感じていますので、その辺りの運用方法はさらに詰めていかなければならないと思っています。

《上下水道料金の値上げについて》

【神奈川】 ありがとうございます。それと、水道料金に関してなんですけれども、先日も、主要4会派から要望書を受け取られましたけれども、改めて要望書を受け取った所感と、また、さっきのバス代の話もそうですけれども、4月にバス代、水道代、いろんな施設の利用料の値上げが、値上げと言っているのか、引上げが予定されていますけれども、改めてそのタイミングで本当にいいのかどうかみたいなどころはどう感じられているでしょうか。

【市長】 確かに重なっているということについては、私も非常に重く受け止めております。その中で議会からも、料金の値上げについては一定の理解をしていただいている中でも、何とか工夫できないものかという、そういった議会からの御要望はしっかり受け止めさせていただいて、今どういうことが可能かということについて私の中で精査しているところでございますので、そのことについて、またしかるべき対応していきたいと思っています。

【神奈川】 委員会の中でも結構議論になっていたんですけれども、JFE跡地の再利用や扇島地区の新規ビジネスのところでデータセンターの話なんかは出たと思うんですけれども、今後答申では、どんどん、どんどん水需要は下がっていきますと。だから、その分を市民に負担していただきましょうというようなところで終わっていたと思うんですけれども、市長がよく言う、どんどん、どんどんタイムリーに時代が変化していく中で、今後新しいビジネスなどが生まれて、水需要がどーんと増えることも予測されると思うんですけれども、そういうのは加味しなくてもいいのでしょうか。

【市長】 それはかなり将来的な話になってくるかと思います。将来的な産業がどれほどの水需要を生むのかというのがかなり不確実なところがありますので、将来的に産業がどう形成されるかという段階で、また水道料金は時代に合わせて見直していくべきだと思いますが、今々の時点で経営をしっかり整えていきまないと、本当に命の水が守れないということになりますので、そこはしっかりと判断しなければならないと思っています。

【神奈川】 今年の春に、データセンターを民間のほうで新しく建設するというような発表をされましたけれども、あの辺の話は想定されていたんですか。それとも、ま

だ発表される前だし、想定はできなかったようなところになるんですか。

【市長】 データセンターについては私も気になっていて、この前も熊本のネイチャーポジティブのサミットでも議論がありました。ただ、データセンターの種類は相当あって、水をほぼ使わない、ほとんど使わないタイプもあって、どういうものを選択していくかというのは、実は今後の話は全く分からない。やっぱりデータセンターの水の話というのは、世界はそうですけども、日本国内でもいろんな話題にこれからなってくると思いますが、現時点でどのタイプのデータセンターなのかも全く分かりませんし、そもそも特定の会社だとか特定の施設がということで料金が大幅に変わるということは現時点で想定しづらいと思います。

【神奈川】 先ほど市長が言ったとおり、今後10年、20年先は分からないですけども、また、大型な新しいビジネスが生まれたときは、そのときはそのときで値段とかを改定すればいいというような考えでしょうか。

【市長】 基本的にはその時代に即した料金の在り方というのが、時代時代に応じて設定されるべきものだと思います。

【神奈川】 そういう中では、この春に値上げすること、もしかしたら9月にするかもしれないし、もう1年見送る可能性もあり得るというような話なんですか。政府も、ガソリン代とか電気代とか補正している中で、川崎市のほうで値上げするというのはやっぱりちょっとギャップがあるのかなと思ったりもするんですけども。

【市長】 同時に、物価高騰による影響とのギャップをますます拡大させてしまう。そして経営状況を安定させなければ、その跳ね返りは確実に利用者のところにまた戻ってくるということになりますので、そこはしかるべきにしっかりと判断していかなければならないというのは、このことが大事だと思っていますし、市民の皆さんに御理解いただけるような形にしていかなければならないと思っております。

【神奈川】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

読売新聞さん。

【読売】 読売新聞です。また値上げの話で恐縮なんですけれども、上下水道改定で、先週、4会派から要望が出されました。改正条例案は9月に上程しなきゃいけないので、もうじき市長は判断しないといけないと思うんですけども、水道の場合は改定率をなるべく低くということと、下水道は延期してほしいというのが主な要望だったと思うんですけど、その辺、どのようにお考えでしょうか。

【市長】 やはり市民を代表する一元の議会からの主要4会派の皆さんからのお話は

非常に重く受け止めているということ、現時点で申し上げられるのはそのぐらいです。

【読売】 時間的に、もう差し迫っていると思うんですけども、まだ判断はしてないということですかね。

【市長】 そうですね。その２項目以外にも、施設系の減免みたいな話もあったりとかということもありますし、そういったところも今、どういう切り分けがとかっていろんな調査もさせていただいております。そういったこと全体を含めて、最終的には判断していきたいと思っています。

【読売】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

共同通信さん。

《消費税について》

【共同】 共同です。市の話からは少し離れるんですけども、食料品の消費税減税が明日にも閣議決定される見込みとのことなんですけれども、地方自治体からは減収に対する不安や懸念の声も聞かれるということなんですけれども、市長は、これに関して何かお考えのことはありますでしょうか。

【市長】 消費税の食料品の減税、１％になった場合の影響額は、単年度で申し上げますと４９億円の減収になるということで、市の収入だけの話をすればかなりインパクトがある話だとは思いますが。影響はかなり大きい話になってくると思いますが、それがどのように補填されるのかということと、それは行政側の立場ですけれども、消費者ですとかあるいは事業者の立場から見てもかなり影響の大きい政策だと思っていますので、その辺りを、特に事業者の皆さん、システム改修とか様々な影響が出てくると思いますし、飲食店への影響等々、様々なことが懸念されていますが、そういった影響をしっかりとウオッチしながらやっていきたいと思っています。

【共同】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、先ほど１点お答えで、避難所となる体育館の空調の整備の校数ということとを別途お答えをさせていただくということでよろしいでしょうか。では、そちらについては別途回答させていただきます。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載して

います。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当